

## レンダラーズコラム

バースコンテスト受賞、仲間内での勉強会の実施など、レンダラーとしてとても積極的に歩まれている姿がまぶしい高畠氏。いくつかの事務所を経験した後フリーランスへと転向。その働き方の変遷から、彼女が現在感じていることをうかがいます。

# 自分の心が喜んでいるか



高畠真澄 たかはたますみ

msum  
CGデザイナー  
1997年 青山製図専門学校卒業  
店舗設計事務所  
マンション設計事務所を経て  
株式会社山城デザイン  
2006年 有限会社A T A企画  
2007年 Autodesk Visualization Contest8位  
2009年 最高の建築バースを描く方法編集  
2013年 独立、JARA入会  
2015年 事務所移転



## ごあいさつ

独立して3年と、まだ未熟の私にこのような機会を下さった事、とても嬉しく思います。コンピューターが苦手な典型的な女性のため、最先端のCG情報提供は出来ませんが、その代わり、苦手だからこそお話しを聞かれております。また、アピールポイントとしては、2社のバース製作会社での経験から、偏りなく多くの案件を描かせて頂いたと思います。

## 大切にしていること

私は、建築、インテリア、デザイン、アート、写真が大好きなので、イメージを表現することのお仕事は楽しいのひとつに尽きます。ただ、ものを作る道具としては、コンピューターが欠かせません。それでも、作りたいという気持ちがあれば出来ると言う事を強く信んでいます。きっかけは、Autodesk Visualization contest2007でした。「午後の中庭」という作品で8位に選ばれました。当時、maxwellというレンダラーで完成させたのですが、時間に間に合わず、とてもノイズのかかった画像で締め切りに提出しました。しかし、選んで頂けたのは、どうしてだったんだろう? 当時を振り返ると、その作品を制作中に大事にした事を思い出します。たった1つですが「自分の心の喜ぶ事をしよう」です。それまでの仕事のスタイルは、お客様の指示通りにし、誰が制作しても同じようなバースを描いておけば大丈夫と思って製作していました。しかし、それではただのオペレータにすぎません。名詞の肩書きの「CGデザイナー」とは違うのです。自分の心が喜ぶ作品?それは題材だったり、空気感だったり、光と影だったりです。そして「好き」かどうか。想いを形にしたら、たとえノイズが多くても伝わるのかも知れませんね。

それ以来、私は、自分の心が喜んでいるかを大事にしています。それが、お客様を喜ばすことにつながり、私の喜びになるのです。

## CG☆ガールズ

2013年、フリーランスになってからは、仲間がないと前に進めないと痛感しました。プラグインのインストールも出来なかったり、ネットワーク設定などです。助けてくれた方のおかげで今があります。また、最初に仲間にお願いしたのは、挨拶状のクッキー作りです。ここではコミュニケーションを大切にしました。それからは、CGガールズという、女子だけの仲間で勉強会を開催しました。自宅を事務所としていましたので、気軽に呼べるのが同性の女性と思ったからです。勉強会の内容は、みんなで決めて、今更聞けない質問大会、同じ題材でバリエーションの違う静止画を作成。制作時間も決めながら苦手分野を克服する課題でした。



その後JARAに入会、CG製作をしている人達の集まり「CGM」にも参加しました。CGMは個人で活動しているCG屋さんの集まりです。ソフトも違うし、得意不得意も違いますので、とても面白い勉強会です。見積もり合戦という会議は、「ここだけの話」で盛り上がりました。すこし前まではライバルと思っていた関係がシェアし合う事で大きな仲間となります。



## 題材と構図

2014年は、JARA展の題材に、部屋に絵として飾れる美しい作品が作りたいという思いが強くなりました。

美しい作品が作りたいと思ったのは、習い事の水墨画教室での土屋秋恵先生との出会いからです。水墨画は、濃淡で表現します。墨の濃さだけで奥行き感などを描き、半紙のどこに描くか、余白の大変さなどで美しさが変わりました。今回は、そこで学んだ事を生かす事が出来たと思っております。

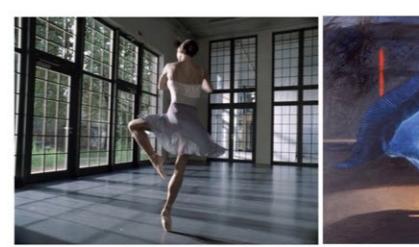
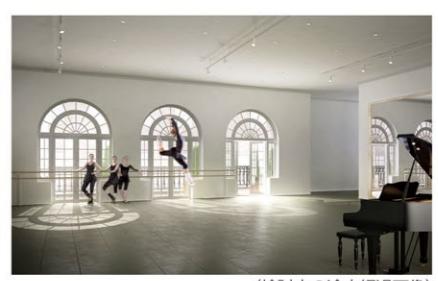
まず、題材です。仕事では後回しになる点景を先に選びました。バレエの踊り子の画像を購入したのですが、それにはタイトル「ToiToiToi～うまく行くよ～」が伝わる点景というのが重要としました。

次に構図です。よくあるスタジオをモデリングしたのですが、リアルに空調とか入れてしまったら、東京のスタジオに見えました。何か安っぽい仕上がりで、イメージとは違ってしまいました。その後、やりすぎてしまった絵を見て、小物や装飾は出来るだけ引き算しました。鏡の位置なども、何度も変更して、最終的にこの構図に収めました。

また、参考にしたのは、ロバート・ハイデルと言うアメリカの画家の油絵です。インテリア写真も参考にしましたが、それでは美しさという点で参考になりませんでした。完成後、時間配分を思い出しますと、複雑なモチーフでもありませんので制作時間は短時間です。しかし、題材探し、参考イメージ探しに時間がかかりました。そう思うと設計者さんの指示書が遅くなる気持ちも解ってきますね。今後は、設計者さんの言葉を汲み取って、こちらから画像を送れる関係を作りたいと思っています。図面がない物件ほど、イメージ写真だけで形に出来るのが私の仕事でありますので。

## 異業種との交流

2015年から事務所を南青山に移しました。WEB、デザイン、広告などのクリエイティブな事をしていらっしゃるネクシオ株式会社とのシェアです。異業種の方とのお話しや情報はとても刺激になります。モノは違っても大事な事は一緒である事をそばにいて改めて学びました。時々、アイディア会議にも出席させてもらうのですが「最近、何のアプリをダウンロードした?」とのテーマだったりします。常に新しい事を考えては生み出している会社です。つい業界が違うと話が解ってくれないと思うがちですが、実はその逆だったりもします。



異業種だからこそ、素晴らしい事を教えてもらえますし、自分の引き出しが増えたりします。環境を変えるのは勇気もありますが、同じ場所のままでは新しい事はいつも以上の努力をしないと出来ません。バースもクリエイティブのお仕事ですから、使用ソフトだけではなく、環境や時間や、付き合う人を変えてみるといいかも知れません。



る学生さん、同業者さんに、私の記事が何か参考になりましたら幸いです。ぜひ、自分の心の喜ぶ事をしてみてくださいね!

土屋秋恵・墨門会  
<http://www.bokusenkai.com/>  
ネクシオ株式会社  
<http://www.nexio.co.jp/>

(2014.07.01)